平成25年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	デジタルコンテンツ論(Digital Contents)			**授業コード**	C165951
担当教員名	高　文局、坪倉　篤志				
配当学年	3	**開講期**	後期		
必修・選択区分	選択	**単位数**	2		
履修上の注意または履修条件	特にありません。				
受講心得	プリントの配布や課題があります。欠席・遅刻はしないように心掛けましょう。止むを得ず欠席・遅刻をする場合は、事前にメールなどを通して連絡してください。また、研究室に寄り欠席した日の資料を受け取ってください。				
教科書	別途指示します。				
参考文献及び指定図書	別途指示します。				
関連科目	(先修科目) 情報メディアと社会、インターネット1、インターネット2、インターネット3 (併修科目) インターネット4 (先修・後修に関係なく関連性の高い科目) Webプランニング論、情報システム1、情報システム2				

授業の目的	この科目では、ネットワーク、特にインターネットを中心とするデジタルコンテンツに関する基礎的な知識とネットワークのブロードバンド化、放送のデジタル化、加えて携帯電話の進化等によるデジタルコンテンツ産業の分野別動向について学習します。さらに、デジタルコンテンツ産業の海外動向についても考察し、海外における日本の位置付けや政策、デジタルコンテンツの知的財産権保護と活用戦略についても学習します。
授業の概要	映画や放送のデジタル化は表現手段のみならず、その配信・流通形態においてもデジタル化の波が急速に進んでおり、なかでもインターネットを用いたコンテンツ配信の利用ニーズは日増しに高まっています。具体的には、従来の放送メディア、パッケージメディアによる配信・流通との違い、デジタルコンテンツ配信の基盤となるアーカイブスの技術、配信に関わるネットワーク技術、国内外のデジタルコンテンツ政策や知的財産権の保護等について、具体的な事例を扱いながら理解を深めます。

○授業計画

学修内容	**学修課題(予習・復習)**
第 1 週 : ガイダンス 授業内容と講義の進め方や評価方法などについて、ガイダンスを行ないます。	
第 2 週 : デジタルコンテンツについて(1) ここでは、デジタルコンテンツの概念定義、その種類や特性などについて学習します。	配付資料 「デジタルコンテンツについて考える。」
第 3 週 : デジタルコンテンツについて(2) ここでは、デジタルコンテンツの概念定義、その種類や特性などについて学習します。	配付資料 「デジタルコンテンツについて考える。」
第 4 週 : デジタルコンテンツ産業と主要コンテンツの分野別動向について(1) ネットワークのブロードバンド化、放送のデジタル化、加えて携帯電話の進化等、コンテンツ産業は大きな変革期を向かえています。ここでは、映像、音楽、ゲーム、図書・新聞・画像・テキストなどのデジタルコンテンツ産業について概説し、主要コンテンツの分野別動向について詳しく説明します。	配付資料 「デジタル産業の分野別動向について考察する。」
第 5 週 : デジタルコンテンツ産業と主要コンテンツの分野別動向について(2) ネットワークのブロードバンド化、放送のデジタル化、加えて携帯電話の進化等、コンテンツ産業は大きな変革期を向かえています。ここでは、映像、音楽、ゲーム、図書・新聞・画像・テキストなどのデジタルコンテンツ産業について概説し、主要コンテンツの分野別動向について詳しく説明します。	配付資料 「デジタル産業の分野別動向について考察する。」

第 6 週 ： デジタルコンテンツ産業と主要コンテンツの分野別動向について（3） ネットワークのブロードバンド化、放送のデジタル化、加えて携帯電話の進化等、コンテンツ産業は大きな変革期を向かえています。ここでは、映像、音楽、ゲーム、図書・新聞・画像・テキストなどのデジタルコンテンツ産業について概説し、主要コンテンツの分野別動向について詳しく説明します。	配付資料 「デジタル産業の分野別動向について考察する。」
第 7 週 ： デジタルコンテンツ産業と主要コンテンツの分野別動向について（4） ネットワークのブロードバンド化、放送のデジタル化、加えて携帯電話の進化等、コンテンツ産業は大きな変革期を向かえています。ここでは、映像、音楽、ゲーム、図書・新聞・画像・テキストなどのデジタルコンテンツ産業について概説し、主要コンテンツの分野別動向について詳しく説明します。	配付資料 「デジタル産業の分野別動向について考察する。」
第 8 週 ： デジタルコンテンツ産業の海外動向について（1） 若年人口の減少を始め、人口全体の減少は、コンテンツの受け手である購買層の縮小を意味します。その打開策として最も大きな可能性を持つのは「海外市場」であります。ここでは、海外のデジタルコンテンツ市場把握・比較、関連基礎情報などの海外動向について学習し、海外における日本の位置付けを考察します。	配付資料 「デジタルコンテンツ産業の海外動向と日本の位置付けについて」
第 9 週 ： デジタルコンテンツ産業の海外動向について（2） 若年人口の減少を始め、人口全体の減少は、コンテンツの受け手である購買層の縮小を意味します。その打開策として最も大きな可能性を持つのは「海外市場」であります。ここでは、海外のデジタルコンテンツ市場把握・比較、関連基礎情報などの海外動向について学習し、海外における日本の位置付けを考察します。	配付資料 「デジタルコンテンツ産業の海外動向と日本の位置付けについて」
第10週： デジタルコンテンツ政策について（1） ここでは、日本を含め、諸外国のデジタルコンテンツ政策について考察します。そうすることによって、日本の今日におけるデジタルコンテンツ政策の問題点や課題などを考えてみます。	配付資料 「デジタルコンテンツ政策について」
第11週： デジタルコンテンツ政策について（2） ここでは、日本を含め、諸外国のデジタルコンテンツ政策について考察します。そうすることによって、日本の今日におけるデジタルコンテンツ政策の問題点や課題などを考えてみます。	配付資料 「デジタルコンテンツ政策について」
第12週： デジタルコンテンツ著作権について（1） ここでは、デジタルコンテンツの知的財産権保護と活用戦略について、事例を取上げながら説明します。	配付資料 「デジタルコンテンツ著作権について考える。」
第13週： デジタルコンテンツ著作権について（2） ここでは、デジタルコンテンツの知的財産権保護と活用戦略について、事例を取上げながら説明します。	配付資料 「デジタルコンテンツ著作権について考える。」
第14週： デジタルコンテンツ著作権について（3） ここでは、デジタルコンテンツの知的財産権保護と活用戦略について、事例を取上げながら説明します。	配付資料 「デジタルコンテンツ著作権について考える。」
第15週： 授業の総括とまとめ ここでは、今まで議論してきた内容について総括とまとめを行います。	
第16週： 期末試験 これまでの講義内容を範囲とした小論文形式の試験を行います。	

（1）授業の形式	「講義形式」

授業の運営方法	(2)複数担当の場合の方式	「オムニバス方式」
	(3)アクティブ・ラーニング	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	
【知識・理解】	①「デジタルコンテンツ」の概念定義やその種類、特徴などを理解する。 ②国内外のデジタルコンテンツ産業の動向や政策などを理解する。 ③「デジタルコンテンツ」の著作権問題などを理解する。
【技能・表現・コミュニケーション】	
【思考・判断・創造】	

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		10点		
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	60点			
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。				
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	20点	10点		

(「人間力」について)

※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	レポートは、授業時に指示される記載注意事項に従って、Word文書として作成し締切日まで提出してください。すべて提出した場合は、評価の対象とします。
発表・その他 (無形成果)	